續孫子兵法十二編
廿五
下
へ13
3286
43止

門へ13
號3286
卷43

本清

續膝栗毛十二編　下冊

助郷馬の事ども詳しきまゝ。拙よりひぐきふうに用さめ
てあるよりどうるよ家門ハたゞ其ハ家々その人數ハ
いてきたるめるが。きこハたうゝ出ども。饗の饗ゐられべ
まめぐひ出うてつうよかうゝ名ハ人ゝ家もゐ紀おし
さ。さとでも富のあるじきのごくあやおひろん産業へ
出きうてへ市ニゆうぶ。ひよんゐとゝで。あること大きよ
おんづひるさうまゝさ。ゐんゆゝろ。そのおはあうでん。

愛知縣尾野寶典

出合そうな
藪うぐひす
なれ
て
梅の
はちん
よ
とまり
てゝ
るく

仲加茂女

るくまさとまい。入をぐ〳〵どもるさうぐ〳〵ぞ〳〵へ根さと
つめる〳〵。ぐ〳〵まるとこともでき申せうう。まげ製結と
よびよつる〳〵ませう〳〵ッリヤ。ぐ〳〵どざうやをぐ〳〵
ふる。このあるじゃアおさま〳〵孫へう〳〵。ごのぞ〳〵ぞ〳〵
でどぎうやをト山内あるじの女下女よのひつけかうあひと引く
よびまるとうう〳〵よきうれて
三さどん。おあがちゑ〳〵まけがあゑて。おつかうがあの
ことく〳〵ど。孫とつめてしうをぐ〳〵ちうゑとさてあげて
ゑまさい〳〵ハイかかう〳〵とまうまし〳〵ト山内のうしうくまうう。
かうのぐ〳〵さとさて

〳〵コリヤひどく孫う〳〵おきうるさうとと見〳〵ヤアうた
ぐ〳〵まうませぬ入製をとあ〳〵るさうませ〳〵ぞ〳〵
ごのどもぐ〳〵ぐ〳〵あとのうこどあ〳〵ニかかり〳〵のいうるのの
あうきやアトろてへゆけがかあのもるじくうそやきかさどう
くしてつけぐ〳〵のとけげがとしらくてうくきうう
〳〵とんるとこ〳〵でよのどざうませうう〳〵ぞ〳〵きうる。
うきうるあうるふ出来こそ見をとゑ〳〵つのてうるせ人ト
山内ゆうあひ。小八のあうるとうう〳〵〳〵コリヤアおまへさるさどめし
うのうけぐ〳〵このまげとつけるぐ〳〵
いうどー〳〵でゆとうきう〳〵まこるさ〳〵とのどおうづうア

ぞうさいろどころもさるぞ。むらさきのいろどころ
ぞうりがそのあとへひつとるし　ぞうりさろうと
出来まゝこどもレイ〳〵トあるを　ぞうきるぞうりやとのぞきめらく
ゴリヤごとゆう。あちらこちらのまうぶぞうさけさがし
ろくもくてあるものめづらしいぞうもこの三ぞうちがくて。ライさうさる
よふつけまゝさがまうつけるとともあのとうど
ろう。ヒヤそのぞうろくまげてあきるさうませぞう
ちんごとくとうぶきやきこどくごるぞ。ちんとうるつけ

るとそくそんるせくぞうさるろう。るとそくあけまさう
トまこかんろうつけぞうとまじよろく。ゴリヤちがよおせへ
るとこどもへ出てるしくもひぞうサアくあるるのきくぐだくと。
いこぐきてうりもくくぞうりとくぞうりとくぞうりと

りのへ。あるそうをもちのこと。はあっごまろう。
きこ。こそ〜ごうの。ちゃうの。ちゃうや。ちんと。ををくぶ。今をろう。
夢むぶ。あろうんりのごと〜。まつ山いろうさるご額
げけ〜といのけろ〜。その。ちゃう。利生があけて。さ〜ぶんと
あるけて。ふけとあるひるさい。その〜をやアこんるも。
あろうんとあるごづ〜ア。ふ〜とろく。教るとらまて。ま
るいりのへひろるろこが。姉袋の。花十るんさア。
のちあるアくろひるけて。ちんをとをろうでをる教

子でこそき合あつこぶ。ろ〜しだろうぶろ。まのお
ぶ。ろ〜あぶろうであろぶ〜いろうぶ。まろ山へお礼ま
まいけて。今ろくぶアり〜。ぶとのけ〜ふ〜やア仕合ぶあろ
ぶやアぶ。ろ〜ろ。ろ利生がるろ。きやアそ五こんだろう。
えそん　えん　ぶ
新田の丹七が。ぶろの〜ふ。あ〜アだろぶ。ろるだいとお
ぶひとえた。ぶ川。ぶ。ぶ。ぶ

りのごうら。コリヤうよあるるゆやァ。ちぐりへあんまのとそれ
と出てよ。紙谷で買てがうつこがナニ指
荷さきがごろうごろ。まちがくさろ考さう。仕
うとうとこうとるいう。あうァ年寄のとこテめけて
花ひらりもこうるいでくつうとうがうるい
いるうさるも。出てゆやァるまうるいう。ツリヤァ
あうるいそうごァ。丹七のうとうとゆやァ。おまこうそ
いりてゆうがとイうァ去年の八月ごろしやァ

るいうまうもその上に俵ごが馬ァ。三百出ーしそ
ううとこてァ。おがくとゆうづうァ。三年の八月ま。
こりとこてァ去りてゆうが。おまこりかまうそ。ァてる
べんく。おううてのこんどァ。ひ。ひうまいでート。ひとつ今のこの男
十二ニ度あうるべん。くだもひうまいでート。ひとつ今のこの男
ヘイヤそもいうまうるいヨーニ度ろうとがあうきゆァ
掃川のきう八がむぐんと。ヨーごりの村の法ごろ
のむぐんと一年ほこ変。ろうとがあうきゆァート。

きくて
田螺の
あまじ
ものみ了雅
青唐中
挑壷

居ながらひそ
かの
ユむろん
小田
蛙
同丘晃
桔凡

はたをそこととおく八モとおめくぐ〜て蕣うさ名と生長作
ようきそのあ臣

と見えさが。ゑるわど。おうぐて人いるうさ名に。ぎぐこ
屋やと。ちてしも。えんうでどぐうやとう〜。けまえ人
ちきぐ。糸指きて。お移ぐひやとゆへぐ人ぞさえ
が。犬ぐもちのうちで。地面梅或も〜えし〜あ引て。
そてうくいむとめのある巴べきく金ときと
ゑ見引て。むとゑまうくうどぐうやとく〜。さ
ゆうるうちよ。あうやとゆうよ。おまあ人。名さ引て。

ちうやく。七日のあうぐとうてお移ぐひやし
く。七日めの朔あ人ぐて人とく〜ゆへいちうさ名ぐ
美まうく〜よあくちゑさ引てうちの名とぶ
八くくおよびゑさうく〜バー。ゑんどぐうやとと
うて引くく。ちうきうやく〜とくく
ト。ひくくちやうてうちゆこ人ぐ
ちうどきようくとこうゆきゆ
ゆやて。ゑんぐうちとうゆ
ト。さ人ゆくさうさくこの三人ちゆきゆ
うちうゆちやくゆあけ川のしゆくくちゑる

白あつとうがせとだうの惣昌八

ちつ月とやいまうゝ　摂　川　の　嵯

この嵯くゝゆてさどもさどいつきまゝくひて、ろくさろくとくさ
一人の男よどれうあるあるせめくくよくこのひけるるようもんいろのひしく
おとろうくきさるるこれどゝーとさゝーがくふてんだのあんとうづ天王ゝ
うくらくんでんとうがそゆくくべうニ人おるゞふうゆそひくくづまま
かくくまうおそゞあくくのやどゆくちおろうとのぜゆと天王ゝさやとしやるる
もらくふのてんぐのめんとかぶうくく男がとてふあうぎとちゝさやとしやるる
ぐくも　トいあくくさぼのまどもゝ　ーくちまものとゝ　おぐくうやく
ゝくくちとそうくてゝさやとしやるどもゝ
天王
てんまうくさるいゝてんまうくさるいゝさやまとが　おまとれゝまや
天王
まとふおまとれゝさけんるをおまとれゝさけんるとおまとれ

天王
ゝいうぞいやろうゝいうぞいやろうゝ天王まいてうくやろぞゝまのへ
天王
とうくやうぞゝさあまくくぞ　ト　白くくあくくひてひらくくく

あらさうもしゝ[illegible]ぢらうこゝアぢ。ふしぎへ
ごぐ〳〵[illegible]るらもうらもうゝるい。この[illegible]とあるく
かのよ。あゝのあいたれひとうるるい。そもこわ[illegible]
るあゝぐかのとぢもとぢもふるるもとるとこもあるいうこ
やるるゝいとことうくあゝとこぐ〳〵[illegible]やるるこめぐ[illegible]
とゝとやうゝやアぐ。ゝかぐうこあるこうゝぐとのめとひき
きこハのあるるとかきむゝる。こあとこのるるのふくもふいるも
もゝとようてちくとるぐわ。ぐゝのとふゝるるこうのあとこ
ゝとうゝあハゝこく天狗の面の鼻とひきむゝゝアるやアゝ

てゝるるぐりげてごこくうるるんで去まくゝゃイるるとる
つけてよとせちやア。トいふよきぐうきゝルハるもあこまくゝとと
そこゝきるうくゝ[illegible]おうゝのあるるぐるるゝるつゝゃイるゝ
ちの鼻ようあるこぐあるるとかきむゝゃるやアぐつゝ。
ごくくゝ[illegible]あるるぐるいゝゝるとわぐあるゝぐゃア
るいう[illegible]ゃあるるいあるぐ。とのあるるへくゝつけて
あゝこつけぐこのまけぐるくるつゝ[illegible]ゃるうちよるう。
こうちの鼻乃ゝるぐ。天狗のめんのあるるぐりげ

ちやア。姫ゑ。ゑ。ゑ。

白須賀東江亭

こゝとろくゝゑとアニハアこうゑゐ髪のゝあつきけて。形
のゝうけゝゝこゝきろく夢いこんひゝさゐアあうゞゝ人
こゝうぐゞくゝをとうゝとゝんゞアゝゝゝゝふゝろゞこん女の
ゆゝうゝゐ。浄衣のゝきて。おれまゝゝゐいくのでゞゞアア
コリヤハアそのゝゝゑきろくゝこうゑゐのまげぶゞでゞゞゝゝ
こんひゝさゐアゝおさめゞいゝあゝゝてのえゞアゝゝ
ゝてふゝとろゝとおゝゝこのさナシトきこハゐめくのあ
ゝゐへてゝどゝゝのゞあるゞハウこんひゝさんそのまげと

ひゝゝ夢てこんゐさゝゝることアできめくゝこの男ゞ
こゝちゝで。きゐふゝゐのまげとゝきゝゝゐこしゝ
まゝゝゝゝゝゝいゝのゞゞゞゞゞゞゝゝゝゝアゝゝ
ろ浪ゝゝゝゝけゐくゝんゞアゝゝてゝゞゐゝゝゝアこ
まのゝこゞるゝちゝ張アゝお清ゝゝできこゞゐこしゞゝ、
きゝこハゝこゝて絵人ゝゝゝ少コリヤきめゝゝゝゝゝゝこの
まゞげゞゝんゞきゞきゝいてゐるゝゝゞゝゝゝのふゝこの
こゝふゝあゝくゝゐゝふゝこの白髪のまげゞよんゞゝ

〻つまり〻稲くとことといふ。おいらのあるあるべまげどう
おろくちやア。おう〻ゆろう〻稲ゃいさ栗のあるあるも。
ぶづびくてようろう〻ぢうといふ。コウト大さぶようふ
きどがきうぼ。根きれこ〻よう〻こ〻。畑れいきを
ぎろ。イヤ〻とのかあこぢ稲ゴ。よふ代へへムらぶ
〻とのハア前の。おつかのぢうるのごとやをくしてゆり
まきとでいが。りやハア百ろ十もくまこさろ〻ゆい〻そき
おやアこさく〻。とのおろものい疑れものぶ〻ろ。ひけ

ものぶ百ままけるがり〻トぜる百文やてまげとうひとう。
まれまて〻ぢうぶ〻ゆう稲〻コリゃハアやまとのすくぢぶ〻ろ。
おぢり〻ぢうぶ〻ゆう稲〻コリゃハアやまとのすくぢぶ〻ろ。
ぢうぶ〻ゆう稲〻コリゃハアやまとのすくぢぶ〻ろ。
とろのあとこ〻ろ〻まろと。おとんぢ。ぶよろこアすト
門ぶ〻ゆう二人まろ。ゆ。コレ出ぶ〻ぢうぶ〻ゆう稲
ぶよろまもよろ。ゆ。コレ出ぶ〻ぢうぶ〻ゆう稲
きこ〻ふ〻ゆ買ていろせ人まト。ゆ。ぶ〻ぢうぶ〻ゆ。ゆ。
ぶろ。ゆ。ぶ〻ぢうぶ〻ゆ。ゆ。ぶ〻ぢうぶ〻ゆ。ゆ。
ぶ〻ぢうぶ〻ゆ

とんめ〜いはきとぐろ。それよりふるうれ。だてろうきんでんらはらるとろ。
めい〜もの名ぐうきさろや。ゆ。ゆよりてろちんげ。ひきうけのあ〜ろ

かゆてきく。あの名さん。ゆ。ゆの

うあ〜くと　酒の　洋　判

ゆ〜て。ゆ。ゆ町よ〜ゆ。ゆ。ゆ。

ちゃうおめくこうぐ世宿のさとどやうゾリヤナ きこさんさの
ヒヤア ひさしぶりごよ。ゆふしろうようる世入ヲ ふ生生也
ようーヤ
きとさぶめでこうい。サアくとちくへくトさんよくもそつもあく
あくいおこよつきて。
ゆきのそれが。むさろろ
しきとどやうう サアくおまるぐこくコリヤくお部屋
ごふーこゃイごまでもきやくとらくとてがおやどら。
ちくのるぐまでとどうけよくとおろことがひさしがうご。
おめへのことろくこるつてきるしやせうゾウふハそふさ。
そくてあーこゆつくうるぐらいうとちやせうトとのうち
十二月の女
そくゆくゆとくくてもつてるくふくくん
あくとゆ ひおるがなどくいできくうて ヨヤーくおくくでぶが
まのきとうきくこさんも世一ゆうくへサアくもくへトあんるらくて。
とくぶくくけるざくきくいれゆくいろくとのちくくくくとのしゆくくの
りのゆそびきくくるぐくいで。強てくくるとるどやくいくろかのきりしが。
ちやのびゆくくよ。ちぐくと。ちまひて。こくくこいとくくおやのちやうだいたこ
ビヤやくへきぐくよそのよくくとそくくぐくきるくとくくうゆちやくと
きどくどんをうちまつ。ちいて。さくくくくるくくくくるくくくしゆ生きくゆ
ゆくくちぐくくくく

備前山
向陽舎
紙きり
のし
ゆこう
春の日丑
雪色
月出
風の音
折

雲は
山義
雪色
花色
春深さ
かすみの
幕を
爽の
武陣
播州高砂
瀬戸早出

ゐし。やうふ尚夢の中ぢ。同がおいてらみてができ白
いうう。舟上きまうて。ごと人うらうて書ます。そ物人書去の
男がこ。てきうけがとうも人るこのまもて。そ物人
飛鳥ふいうときうで久うぎ。そ私のとこのこ。ぬけ鳥父六。
こうううのわいこと。久うるとて名書きこがとのどう
きけば深夜で天物さ夕のの若瓜るつてゐるしか
こと。そ夕ふ唐人吉あハ天丘二へひうこてやくく
きうとこうとうがうけおゐ人がこ六き若でめでこいはこ

きうとこうハるせこうまれとてゐうがうでも書うう
ハ書がうハ物ふ扁ゐ物ふ紙人がまをゆいうくうけの
あうとこうき八十二日がのあるうこうこうで歌ハうう
まれのはうんうハアあけまれの助いがアあ人ぬけ
うくがあきうハアハ書ちんハ。物ふかくせとうアあ人。
そうまれの化と。あうハうて見せやさう一ふぬうとと
ハ書ハヤくがくこのが。まけがあ人のハヤ六けうけこまけが
あうまがが書くそまくうまぬがひふ六けうけてゐくア。

ぢ〻ぢ〻ぢ〻ぢ〻茶釜へうぢんけのたるがきらこと〻〻〻

大金どの。痴漢のもの。あこまへのだうぐ。けあらぐ。
もとこけるにんやそもらめどらい。おらーア店賃のかね
ぞうう。ぎやア。ぐいろーの借金ぐあうとぐやうるーん
種取だ。ろどへ入つとうる。まとこいちぢめらとまうーあうろ
とまそもら。仏ようらもーいに今度ハ歩の所はで。
ちん歩ー金の店とうるせへ。あの大金さそハ仏のそ
のあうるへで。山氏あそしく。もち東とーそるとーとが。
ア今までの店よいうる実体ぱ。せぐやうーだうで。
おすーろーるいぐあぐ汚でもものへで。ぎやとのあをへ人ま。
いうるとうーら。店賃ハおーーづけそもかるハぬらと
そーらーそらけでのーつきりめら漢金でらーそへん
るへるーぷーぐるあいてまるといらをとうーそへ店と
ツりるせへにんやりてをぐぷ。ぎうーそのへ大金さるハ仏るる
へうぐ稼にんやりーら情合ぐこにんあへ人ら情合るーぷ。野ま
やりう。うけあへ
藤七情へ人とるゆやうあよびぐ絶へぐ。その名りま。他什
るーん
店賃へひきづへとむーぷ。ぎ尺さりうーそるうーるるにんやー

ごましぐく　いや　はぢ　はぢ　ぢ　ぢ　

酒
墨舎
一得

伐木亭
一車

紙とりびやう屏風さぶらふ。ゆもおさうまへどさうませぬぞ。
さげ。さるとりまき。

ひとりあがりませ。とるとはちそうぐ紙すみゆも
おりるひるさるる。ひさくぶうでちくおまどごるる
さうませ。トあいてもくとい。ませ。ませ。ませ。
めんうう。ドレおうん名さうう。トひろうて。海苔くさきと。
これうさいつもきうつぐるく
さうぐとまいして。さるまおめんぐこも。そぐんうると。今の技手
生を生てるんでもひと書うだいゆ。あうつくしとしよ
かのぐうう。海苔さんおめく。さトいくさぐうぐあるぐきそ

ぎ〜うん。イヤきいあるうまうぐうちぐ紙ぐがめと。
そそまとそ名ぐんうんうると。ぐそ紙より出名ぐまぐ。その世
いういうう。ぐ姫でお大名やしきよひさ〜〜〜つとめる
うう。ぐ名殺ぐもきううあるよよ。ぐんぐあやうちの紙ぐひ
ゆいぐんで。きうとのるいとうやそいそうるうぐん
るこうでもいうう。ぐうんとうとうでは。あうぐ
うう。うう。の。ぐんうるよまてゆまとこしハ世ぐるで。
ゆひうるも。おうぐよできうる〜。苗人ぐ不うふ。海苔も

のぞこへるいげぞよぞ小とぶ老ものおーことぶ。かもうこい
との孫びひ。そもとる親のうちへも紙の翼宿生だ。
牛房のもいげ川のところぐこうこう。孫んだうがいがうこと。
まるへ。あやぎこうこうつづけまくいくこうこいこじゃわ人
人ハイヤそらつへおりこうこ人きまくぐさうまものどの
うこちこまとそそこう。基沢よいあ孫さるがこ人こぐ
その老うものう孫ハそぐこと。それかさうそくる。
お後がきめと人の中くまぐやどるくいらせこう

ハやうるこいまめへくもうときくこやア。およべ孫へ
ハ老こう。今までに火象よりあこうのぐこう町方
の多ア多く世常ものもくもくまいこうもどそかさ人へ
おめ人ハ孫ものう ハイヤモ老ものもるでいこくが
こもるこくハ王でこう世人ハ生きぐんぐこハ生きぐんだ
ろくて。ぐみさうかのぐさ。さぐめくあるこけくこべ。
ぐこうもとこうこ孫人ハそんるくまぐ。きまこうこ
いるのぐハとそのこくふ。まぐ老こぐ。おめふあく

ら。孫八。こゝちよくてぺよびるせくるゝイヤいの。
さうのとこりゝ。こりヤ。こどもがきてゝ。とも
まれをどせ。ゆやアるゝ。孫八。トあさのまばをゝ。ほうぼうまれ
くわい。こうちやくちやのくゝあぞこのうゝ。ぞうくとこうのまゝ。目つれこゝ。ゆび
しんされのもぐる。女。ぞうくゝ。まゝこをして。ゆうさるのゝちとうもいでゝ
ゝぞるこもゝ。ゆゝふ。お出るさうゝ。まゝくゝ。ゝアイ。こりヤア。ゝ
ぞゝ。ゝ。ゝくゝそゝるゝ。ちゝそうぐ。孫ぞれるとのひくゝさ。不皿
とゝそのおむさくゝあげくゝ。ゝのぐ。ちゝあつゝくゝよんで
ゝんるせくる。ゝイヤさるゝ。ゝちはむゝとめがゝその。ゝさゝうの

こゝ。ゝくゝさゝゝくゝうんるせくゝ。ゝとのさくゝさうゝ。ゝ。堂所。
大鳴のゝゝのゝとゝゝゝくゝむゝとめゝくゝ。ゝアリヤア。此。ゝ。
おむゝさゝゝ。ゝりヤアるくゝ。ゝちがひゝぐゝ。ゝこの。ゝ。ゝるゝ。
ゝ。ゝ。ゝくゝ。ゝくゝ。ゝく

おりゐ。と。ゐ。浦吹さん。あやうつかのごとくいい。
あぶそうける。浦吹さんあんよさくるこのあとめ。あとめ。ともとうれば。
くれつまふ々くさめてさけもあり。ゐ。ろうくさ。ゐ。ゐ。へ
かつてようこしをよびらつかゆくと。浦吹ナンート
おもあもまりちるれバおるだくくくてゆくあふ〜ナンート
つまくゐ。ゐ。ゐ。

一反
鳥羽
雨足

月の
伊丹
酒樽

おきのどくなことが出来まして。誠にリヤアるふく、
ぜひ。
ぜひとうへかのとうかのハ。そうぢめのるいかのでゴリヤ
おこそうやさいぐけ。るゆもかも。あけまけまヤ
まで。今おのるかとへ出てうこ。きがかへつこことへし。
あんまうこしがつうあハぬうこ。ちうともとうらきこハ
さんのこころへるこ。らきこうんとやまきこゴリヤアるふも。
浦沢さんと。きらんのじやアるいがとうふすめぐける。
そこがうへきでと。まううりのでどうまとうちかも

きのどくで。浦沢さんのままくそんることハ。
るいとヤまおとうこ。きこそんる。野考るる人じやアる
こうこがうちあけて。おこるるこうこまこうこ。親仕い
ぜ代ま。このことを出あ後ヤまとが。ホト浦沢さんよ
め人のおこそうらきこハ。誠イヤモそこハてうどい。どうちも
あうこうこハまぐこと。ゆでハるこ。のゆまこハおいうこ
るゆも。遠こうへいうこ。ゆ人うこのこと。黄へく
ぜ。ぜどの。ゆりヤ浦沢さんさん。きうちるこうこ。きやこう

そのうへおうさまとんやまでぐるぐるまきにしてくすぶらす
虫米やけうろ。ごろごろ雷もまくもまくもまくも

[illegible]

いさくてされ孫へのさいしやそんきゝそのつかつぶきき

里といさこゝまさせこゝトいふまそこゝ少八コリヤいつそうきらだうゝ

きこゝまこのぶきさこゝあんこゝるかのでもいつこんとゝいちこゝ

ふぐのおちこゝのとまこゝひこゝこゝまこゝこゝおこゝかこゝ孫

百もきこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝ

くも孫へこゝ。少八孫へいおこゝこゝもこゝこゝよこゝこゝこゝこゝ

ゐぐこゝこゝぐ。おゝゝいまこのおこゝこゝはこゝおこゝこゝこゝぐこゝ

[illegible]

孫へも損ぐこゝこゝこゝ少八ゝゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝ

内ちゝ孫へいこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝ

きこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝ

そこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝ

こゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝ孫

こゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝ

そのときでゝ大さゝぎが出まして
イヤあの子がうちの馬士と
きけばるゝこめとゝ山あいぐるゝ出まてかゝことゝ
ごゝまをがうちゝゝそんうこと
ゝゝそこでおめゝよおそるゝとしてのるゝ
きうせまゝとゝやゝゝいのゝ
ようゝふゝさんのゝゝとゝ
ゝゝらんも。お供の出来
あゝゝそこでる。ふさんゝきまゝゝとのゝ
まゝ。沢さんゝ出ふのゝゝのとゝ
ゝゝあゝちのまゝとゝゝゝゝ
ゝゝつゝのゝゝゝゝゝで馬ゝゝゝゝ
つせゝうけをちゝゝとゝゝ出ゝゝゝ
ゝゝゝとゝゝおめゝゝゝのゝゝゝ
きゝでゝあゝゝゝゝゝゝ
かけゝゝゝけゝゝゝゝゝ

スルガ府中
若気速丸

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゆしてその畜をこちらのだこうるが、今おひとりあるく、こちらくこうる
るぶさこそこそこぶうまふたやくくもまうぶのくもくおらくんて

白紙うる 籠 人をふきおろうゆく

風のまちと出まと 下世蔵の 驛

この書くゆてらづこやとりくる、こうこうのめのおつあるふゆうこう
こちらようう、さくくしてぬくうむうこうこうとあてうれさいあうく
ぎいかくやのだんとうとふ 陸 ヨヤ 生 こう清さんこちくく人
やまとこうてぬくうをこうけて
座
前ア 浦沢くどのう。今おくくこうこうくくこうこうこう

本清

[illegible]

[illegible]

[illegible]

古代 此勝栗毛則十二編ゆえ全く満尾を
[illegible]
拵初編貴出[illegible]て[illegible]年廿一年ゆえ
[illegible]
事[illegible]
[illegible]

あきは後[illegible]
[illegible]
[illegible]の一件山家ゆえ[illegible]
[illegible]里の蝙蝠し[illegible]
[illegible]
[illegible]

著者[illegible]